

北海道ぎょれん広報

なみまるくん

4

2022

No.402



「うみ・なかまコミュニケーション」

令和4年度ぎょれん事業計画(案)―前編―
道総研とぎょれんが
連携協力に関する協定を締結しました

特集

北海道
ぎょれん

みきさんの あさかな コラム

札幌で活躍する2人の管理栄養士の方に、旬の魚をテーマとしたコラムを交互にご寄稿頂きます。

「にしん」

今年の冬はことさら雪が多く、多くの方がこの春をまちわびていたことでしょう。

そして春を待つ気持ちをさらに強くするのが、にしんです。北海道に春を告げる魚、にしんが始めると、「あー、やっと来てくれたね。」と独り言。

昭和の中頃からにしんは激減してしまいましたが、近年、浜に帰ってくるようになってきました。そしてにしんの群れが産卵のために沿岸に押し寄せる、群来（くき）がやってきたそうです。

旬の食材を使って色々な料理レシピを提案してテレビ番組で紹介していますが、今年は私にとつては初のにしんが話題。取材を終えてから、お料理パートの収録が行われます。取材にはレポーターが伺います。私はという、にしんの到着を待つのみ。待ち遠しい日々が続きました。以下、レポーターさんから情報です。1月の末頃、港では出港の準備が行われ、そしていよいよ、雪の降る漆黒の海を

進みます。20分ほどで最初の漁場へ到着。網上げの始まりです。

にしん、まず一匹、とりあえず来てくれてありがとう。

この日はなかなか獲れず、結局6匹だったそう。一週間後、漁師さんから連絡があり、再度、スタッフが向かいました。この日は水揚げ2トン！鮮度を落とさないように急いで港に戻り、一匹一匹手作業で網から外す様子をVTR越しではありますが、拝見して「このお陰で私は春が来た！と感じさせていただけ。」としみじみ。かごには美しく輝くにしんがびつしりと入っています。網には無数の数の子がぎらぎらとついています。網に卵を産んでいる。ということ。は数の子が完熟している証拠なんです。まさに今が旬！

にしん漁の様子をほんのちよつとですが、知ることができて、煮てもよし！焼いてもよし！揚げてもよし！のにしんのお料理をたくさん作ることが出来ました。また一つ知らなかつ

たことを知ることができて、春を告げてもらえたようです。にしんには血液をさらさらにするといわれているEPAや記憶力を高めてくれると言われているDHAが豊富に含まれています。旬の時期にはぜひたくさん食べたいお魚ですね。



坂下 美樹

管理栄養士/調理師/製菓衛生師/現在、北海道新聞くらし面「今日の1品」執筆中。「道新文化教室」開催。HTBイチオン出演中、ホクレンGREEN等の料理制作など。料理教室はコロナ対策のうえ好評開催中。ぎょれんと共にレシピの制作多数。

[うみ・なかま コミュニケーション]

なみまるくん

北海道ぎょれん広報誌
Hokkaido Gyoren Magazine
April 2022 No.402

4
2022

01 みきさんのおさかなコラム 「にしん」

02 特集1 令和4年度 ゑれん事業計画(案) 一前編一

08 特集2 道総研とぎょれんが連携協力に関する協定を締結

10 なみまるインフォメーション

11 頭すっきり!! ブレイクタイム

12 大漁祈願! 浜のほっとニュース

13 みなさんのお便りでつくるページ なみまる おたより箱



表紙の写真
石狩湾漁協 石狩湾新港漁港内です

1月から始まったにしんの刺網漁は間もなく終漁です。近年は生産者の努力が実り、毎年のように群来が見られるようになってきました

特集
SPECIAL

令和4年度
ぎょれん事業計画(案) ー前編ー



ぎょれん 菊池副会長

令和4年度が始まりました。今月と来月の2号にわたり、ぎょれんの「令和4年度事業計画(案)」をご紹介します。

今月は令和4年度事業計画(案)のうち、漁政対策、指導・教育事業、漁業環境保全対策事業、販売事業(全体方針及び秋鮭)を、来月は「令和4年度事業計画(案)ー後編ー」として、販売事業のうち、ほたて・昆布・鮮魚に関する事業と、末端加工製品、食の安全・安心対策、宣伝販促・食育事業、購買事業、経営体制の計画をご紹介します。

中期的事業推進方向
最終年度に向けて

令和3年の本道漁業生産量は118万トンと昨年を上回ったものの、秋鮭や昆布、さんま、するめいかといった本道を代表する魚種の資源水準は依然低位にあります。一方で、漁業生産額については、ほたてをはじめコロナ禍で下落した魚価の回復により、昨年末を562億円上回る2,589億円となっています。

長期化するコロナ禍により消費流通面では大きな変革が生じることとなり、国内においては感染拡大防止対策としての外出自粛や飲食店の営業時間短縮など、社会・経済活動の制限が断続的に発令されました。国外においても検疫強化や出入国制限等、一昨年に比べ軽減されつつあるものの完全回復には至っておらず、これによる労働力不足等、水産業界への影響も未だに続いています。

また、昨年9月に太平洋沿岸海域で過去に類例のない大規模な赤潮が発生し、秋鮭やウニ、ツブなど甚大な漁業被害に見舞われるなど新たな問題も発生しており、本道漁業を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。

この状況下、本会は「果敢も必要」等、変化したマーケットに照準を合わせた販促活動を展開するとともに、北海道ブランドを前面に打ち出した高品質で安全安心な水産物のともに、水産資源の回復と増大、漁業経営の安定、漁村の振興、漁場環境の保全等の実現に向けた取組の継続と新たな課題への対応を図っていくものとします。

令和4年度事業計画(案)
指導事業について

1. 漁政対策

本道水産業において、海洋環境の変化に伴う水産資源の変動や生産者の減少と高齢化等といった構造的課題とともに、海獣による漁業被害、自然災害等の増加や貿易問題などの課題が山積するなかあつて、国が推進する「新たな資源管理」による漁業現場への影響回避に向けた議論のほか、新型コロナウィルス感染症の国内外への感染拡大に伴う道産水産物の水揚げ・流通対策や水産加工場における人材確保等への対応を迫られています。

こうした環境下、昨年、国は福島第一原発アルプス処理水の海洋放出の方針を決定したほか、本道太平洋沿岸において過去類例のない大規模な赤潮による漁業被害が発生するなど、本道水産業に甚大な影響を与える新たな問題も発生しています。

本年度の漁政対策の推進にあたっては、コロナ禍における本道水産業の再興を目指す

(1) ウィズコロナにおける本道水産業再興に向けた取組の推進

- ① 金融対策の継続と拡充に向けた取組
- ② 道産水産物の流通対策の拡充強化に向けた取組
- ③ 収入安定対策の拡充や設備投資促進等による漁業経営安定に向けた取組
- ④ 資源管理・栽培漁業強化に資する生産基盤体制の整備・強化に向けた取組
- ⑤ 漁協経営の安定に向けた負担軽減対策の実現に向けた取組
- ⑥ 漁業・水産加工場における人材の早期確保に向けた取組
- ⑦ 密漁防止対策と遊漁対策の拡充強化に向けた取組
- ⑧ 水産物流通適正化法への対応

(2) 本道漁業の実態に即した水産資源の回復・増大に向けた取組の推進

- ① 栽培漁業・増養殖事業における実効性ある施策実現と予算確保に向けた取組
- ② 資源減少要因の究明のための調査研究体制の拡充強化に向けた取組
- ③ 国が推進する「新たな資源管理」にお

浸透に努め、一定の成果を収めてきました。令和4年度においても、引き続きコロナ禍による新たな生活様式への対応が不可欠であるとともに、企業・経済活動においては、環境や地域社会に配慮したエシカル消費が年々重要視されていることも踏まえ、エコ包装資材をはじめとする環境配慮商品の拡充など、環境負荷の低減に繋がる施策を念頭に置きつつ、国内消費の回復と安定化に向けた販路の拡大について、総力を挙げ取り組みます。

漁政活動については水産資源の回復と増大に向け、本道漁業の実態に即した管理手法の導入と資源減少要因の早期究明に向けた調査・研究体制の拡充、さらには漁業経営の安定、漁場環境の保全等多岐にわたる課題解決に向けた各種要請を継続します。

環境面においては、本道漁業環境及び資源を未来に繋げるべく、SDGs実現に向け本会CSR活動の充実を図ります。

環境に配慮した資材の活用及び漁具リサイクルの推進等、海洋プラスチックごみ対策の取組を更に拡充させるとともに、これらの取組を対外的に発信することで環境意識向上への機運醸成を図ります。

このように、本道を取り巻く環境は依然として厳しく、かつ急激な変化に見舞われていますが、「浜のために・浜とともに」という組織理念のもと、「夢と活力ある北海道漁業の再興」を基本方針とした中期的事業推進方向の

る本道漁業の実態に即した資源管理措置（ほっけ・真だら・ぶり等）の実現に向けた取組

④ 漁獲が減少している資源（秋鮭、さんま、するめいか、昆布等）に対する資源回復に向けた取組

⑤ クロマグロの漁獲枠確保と生産者への支援策実現に向けた取組

（３）漁業・漁協経営の安定化に向けた取組の強化

① 担い手・後継者対策の取組強化と外国人材活用に向けた取組

② 生産者の設備投資（漁船・漁具・機器等）に係る支援策強化に向けた取組

③ 漁業収入安定対策における減収著しい漁業に対応した制度運用や無給餌養殖の適正養殖可能数量に係る要件撤廃等の施策強化に向けた取組

④ 漁業経営セーフティーネット構築事業等、漁業経営コスト削減に向けた取組

⑤ 国の施策推進に伴う水揚げ減少により減収となった漁業・漁協経営に対する支援実現に向けた取組

⑥ 漁協の収支改善と設備更新・保全等に係る支援策の予算確保に向けた取組

「漁協のひみつ」を活用し、未来に向けた人材確保と協同組合運動啓発への取組

⑥ 漁協が自ら行う協同組合運動啓発活動への支援

（２）新たな諸制度への対応に向けた経営指導の充実

① 税制改正や会計基準の変更等に関する情報提供及び実務指導の実施

② 労働関係法制度に係る情報提供及び実務指導の実施

（３）漁協経営の適正化向上に向けた経営指導の充実

① JF 全国監査機構による監査を通じた改善指導の継続実施

② 漁協内部監査の定着に向けた担当者の育成指導の継続実施

（４）漁協経営健全化指導の継続実施

① 経営健全化が課題となっている漁協に対し、漁協経営強化推進本部を通じた重点的指導、支援

② 不祥事再発防止に向け漁協経営強化推進本部と連携した諸対策の検討及び実施

（５）協同組合間連携への取組

① 協同組合間連携による組織内外への協同組合論啓発の取組

② 業態の違う協同組合との連携による地域課題の解決に向けた取組

（４）漁村振興及び漁場環境保全に係る取組の実施

① 漁村振興に寄与する水産業多面的機能発揮対策等の予算確保に向けた取組

② 赤潮被害に係る原因究明と漁場の早期回復・被害対策の拡充に向けた取組

③ 自然災害リスク等に対する防災対策（台風・流木対策等）に対応した取組

④ 有害生物による漁業被害の防止と漁業経営への影響軽減に向けた取組

⑤ 福島第一原発アルプス処理水海洋放出に係る反対運動と影響回避に向けた取組

（５）水産物貿易自由化に対する対応

① 貿易自由化交渉の進展に対する本道漁業への影響回避に向けた取組



赤潮被害地域の漁業存続へ緊急及び中期的な支援を要請しました



JF北海道女性連が中心となって活動する「お魚殖やす植樹運動」は協同組合間連携の代表的な取組です

3. 漁業環境保全対策

組織として、また人としてSDGsへの取組、社会貢献活動への参画が求められているなか、漁業生産の礎である海の豊かさを守るため、洋上風力発電、大規模インフラ整備、農業関連対策に加え、なみまるクリーンアップ作戦や植樹をはじめとした河川・海洋等環境保全対策を拡充強化するとともに、赤潮や有害生物、流木等による漁業被害防止対策を強化します。

（１）河川・海洋環境保全対策の取組強化

① 河川・海洋環境保全対策

ア・洋上風力発電開発に係る広域的な協議による対応の強化

イ・実効性のある汚濁水流出防止対策の強化

ウ・海域に加え、陸域からの油流出事故未然防止対策の推進

2. 指導・教育事業

漁協系統を取り巻く環境が劇的に変化する中、コンプライアンス・内部統制など組合経営を健全に進める上で、管理体制強化への取組が強く求められています。

こうしたなか、水産政策、働き方改革、加えて各種法改正等への適正な対応に向け漁協人材育成支援、教育研修活動の充実に引き続き取り組みます。

また、今日の格差が広がる社会にあつて、「相互扶助」の機運を高め、協同組合運動の大切さを周知する取組を強化します。

（１）漁協役職員の人材育成支援と確保に向けた側面支援及び組合員・役職員に対する協同組合運動意識の醸成に向けた活動支援

① 全国漁協組合学校他に関する人材確保に向けた情報提供の実施及び3年目となる奨学金制度を活用した人材確保側面支援の継続実施

② ウィズコロナを見据えたweb研修や動画配信など研修実施体制の構築

③ 実務に直結した職員研修内容の充実

④ 全道協力組織（青年部、職員協議会、漁業士会等）の事業活動を通じたリーダー及び人材育成活動の継続

⑤ 販売事業と連携した子供向け学習冊子

② 赤潮対策

ア・河川における栄養塩分析の強化

イ・有害プラנקトンセンサーによる即応体制の整備

③ 流木対策

ア・流木発生抑止対策と流木撤去対策の推進

イ・流木処理、漂流ごみの回収・処理費用に係る予算拡充対応の強化

④ 農業関連対策

ア・養豚ほか大規模畜産施設建設計画の早期掌握と排水処理対策の強化

イ・農業関係団体との協議を通じた家畜排せつ物問題等諸課題対応の推進

⑤ 大規模インフラ整備対策

ア・新幹線トンネル工事に係る重金属類含有土砂対策の強化

イ・橋梁架替え、高規格道路建設や既存インフラの大規模修繕等による河川環境への影響回避に向けた協議推進

（２）海獣類等有害生物による漁業被害防止対策の強化

① トド・ザラボヤ・クラゲ類による漁業被害軽減対策の推進

② アザラシ類による漁業被害防止及び軽減対策の推進

③ オットセイ等の科学的知見の収集による被害軽減対策の確立

(3) 社会的環境保全に関する実践的取組強化

- ① 海洋プラスチックごみによる海洋汚染防止に向けた知見の集積と啓発
- ② 生産者自らが取り組む海浜清掃「全道なみまるクリーンアップ作戦」の拡充
- ③ 森林環境保全対策・お魚殖やす植樹運動の推進



「全道なみまるクリーンアップ作戦」
令和3年度は北見地区、留萌地区、小樽地区、胆振地区、釧路地区で実施しました

販売事業について

昨年の全道水揚げ数量は、ほたてやいわしの水揚げが伸びたことにより前年を上回ったものの、秋鮭、昆布、さんまやいかといった基幹魚種の水揚げについては依然として低水準が続いています。

水産物の流通はコロナ禍において多大な影響を受けた外食業界は回復の兆しを見せはじ

1. 秋鮭

秋鮭の水揚げが3年連続で5万トンを割り込む厳しい環境下、親製品は価格高騰による消費減退と、輸入鮭鱒の搬入動向に大きく影響を受けることから、消流を注視していく必要があります。魚卵製品については、道産の価格が高値となった一方で、豊漁となった輸入卵が大量に搬入され始めており、今後の消流によっては在庫滞留や相場の下落が懸念され、予断を許さない状況となっています。

また、全道的に秋鮭の背面処理能力(加工能力、運送等)が低下しており、漁期中の突発的な水揚げに対応ができない状況も各地で発生しており、今後も全道広域的な原魚処理体制の再構築が必要不可欠な状況となっています。

このことから、水揚げ回復時における生産と消流の安定化に向け、新型コロナウイルスの影響による消費の変化も踏まえながら、秋鮭流通対策協議会と連携した国内外における各種対策を計画的に実施し、秋鮭製品の安定供給に向けた取組を推進していきます。

(1) 生鮮対策

- ① 旬期消費の拡大を目的とした、生フィレ・生筋子の販売強化
- ② 水揚げ状況に連動した加工・物流強化による原魚の安定処理体制の再構築

め、巣ごもり需要といった家庭内消費については堅調に推移しています。

また、海外においてはコロナ禍からの経済回復が早い国が多く、輸出量は増加しています。

このような環境下、ポストコロナを見据え、変化に対応した各種流通・宣伝・販促事業を展開していくとともに高品質・安全安心を訴求し、北海道水産品の更なる販路拡大に繋がります。

(1) 市場

- 安定流通・魚価維持のための産地市場対策の拡充
- ① コロナ禍で伸長した販路への販売拡充及びポストコロナを見据えた取組強化
- ② 突発的な集中水揚げ時の加工・流通体制の拡充及び底値対策強化
- ③ 水揚げ増加傾向魚種の販売強化

(2) 加工

- 漁協・協力会社・関連会社との組織的連携による加工機能強化
- ① 製造環境、消費環境及び水揚げ環境の変化へ対応した付加価値商品の開発強化
- ② 安全・安心対策強化に向けた品質・衛生管理スキルの更なる向上
- ③ 変化する消費者ニーズに対応した加工体制の拡充

(2) 国内対策

〈親製品〉

- ① 冷凍フィレ・定塩フィレ製品の既存販路確保と新たな販路の拡充
- ② ポストコロナを見据えた業態の取組強化と新規販路の開拓
- ③ 消費地ニーズに呼応した生産と商品開発の継続

〈魚卵製品〉

- ① 重要販売先との取組強化による困り込み(量販、生協)
- ② コロナ禍で伸長した業態への販売強化(宅配、通販)

(3) 輸出対策

- ① 水揚げ回復を見据えた原料輸出による海外市場確保の取組継続(中国、台湾他)
- ② 海外需要をターゲットとした製品輸出の販路確立(中国、台湾、東南アジア、香港他)

(4) その他

- ① 水産工コラベル(MEL)認証の国内外の普及促進と認知向上
- ② 海外でのMEL認証の体制整備の継続的な関係機関への要請

(3) 流通

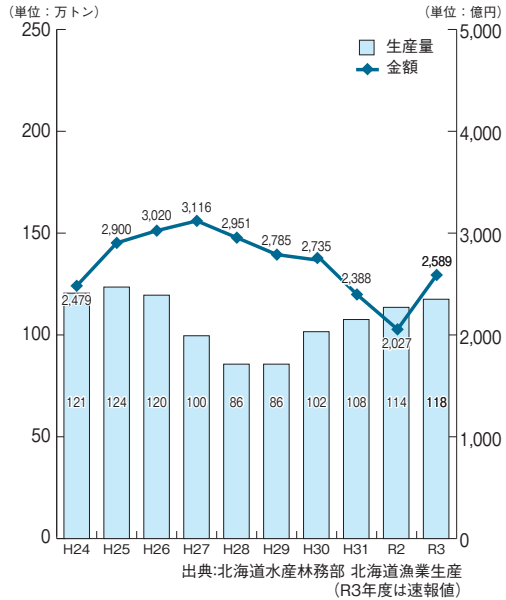
① 国内販売対策

- A. ポストコロナを見据えた業態別販売戦略及び商品開発の推進
- I. 重要取引先との取組強化による安定流通及び新規販路の拡充
- U. 社会情勢に対応した柔軟な宣伝・販促活動の強化
- E. MSC、MEL等を活用したブランド力強化

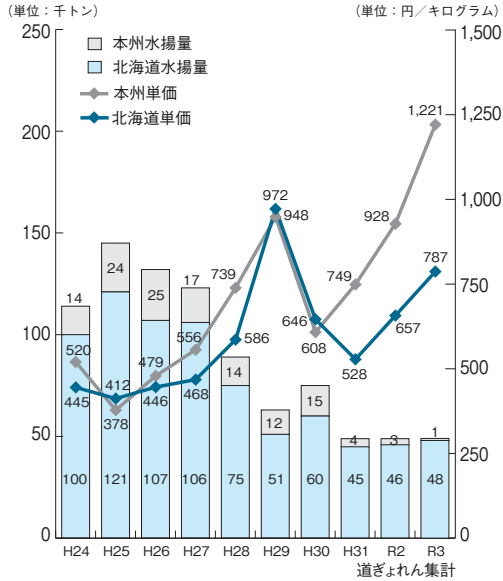
② 輸出対策

- A. 原料輸出による市場確保の取組継続
- I. 海外ニーズに対応した製品輸出の販路確立

本道漁業生産量・金額の推移



秋鮭水揚量・単価推移



MEL JAPAN

1. 目的

マリン・エコラベル・ジャパン(MEL)は、水産資源の持続的利用、環境や生態系の保全に配慮した管理を積極的に行っている漁業・養殖の生産者と、そのような生産者からの水産物を加工・流通している事業者を認証する水産工コラベルです。認証水産物にMELマークを付し、消費者の皆様から積極的に選んでいただくことで、豊かな海を守る日本の水産業と食文化の発展に寄与することを目指します。

2. 認証事業者数

(2022年1月12日時点)

- 漁業認証 13件(うち北海道 2件)
- 養殖認証 52件(うち北海道 0件)
- 流通・加工段階認証 95件 (うち北海道 14件)

シークワードクイズ

4月のテーマ 「各地の名産品」

リ	ン	ゴ	ケ	ヅ	ラ	ナ
ス	オ	ヤ	カ	テ	ツ	シ
ガ	ボ	タ	ス	ボ	ン	コ
メ	ハ	カ	カ	ゲ	ウ	ン
ル	ワ	イ	ン	ハ	タ	ニ
ク	ヤ	モ	シ	ン	コ	ヤ
シ	チ	ナ	ブ	ヤ	サ	ク

どれにも使用しなかった文字を
うまく並べてください。

解答 となります。

くわしい応募方法は、13ページをご覧ください。
抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

コ	キ	マ	コ	ネ	タ	ヤ
ン	ウ	ノ	モ	キ	チ	コ
チ	キ	ユ	ウ	モ	ス	リ
ユ	ト	シ	オ	ト	ト	ヨ
ウ	フ	ウ	フ	ウ	ツ	ト
ル	イ	タ	ケ	イ	バ	ナ
リ	ナ	コ	サ	ン	ウ	ミ

3月号の解答と当選者
キョウリュウ

(福島町) 航大 ママさん
(北斗市) 兼田 人美さん
(函館市) 福澤千都子さん
(根室市) 鍋島 勇子さん
(興部町) 井野 裕史さん

4月は「各地の名産品」がテーマです。名産品はふるさと納税の返礼品になっていることが多いようです。

図の中で、たて、よこ、ななめの一直線に下のリストのキーワードが読めるようになっています。

どこにあてはまるか探してください。すべて探し終わったら、どれにも使用しなかった文字をうまく並べかえてください。

リスト

- | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|
| ☐ カステラ | ☐ チヤ(チャ) |
| ☐ カボス | ☐ ナシ(梨) |
| ☐ クサヤ | ☐ ナラヅケ(奈良漬) |
| ☐ クルメガスリ(久留米餅) | ☐ ハカタオリ(博多織) |
| ☐ ゴカボウ(五家宝) | ☐ ブンタン(文旦) |
| ☐ コンニャク(コンニャク) | ☐ リンゴ |
| ☐ シンゲンモチ(信玄餅) | ☐ ワイン |
| ☐ タコ(鰯) | |

〈ヒント〉 かつては京都の修学旅行みやげの定番でしたね。
(今は?)

解き方

リストの言葉をマス目の中からタテ、ヨコ、ナナメの一直線に探していきます。文字は逆方向から読んでも、他の言葉と重複して読んでもOK。すべて見つけた後、使われなかった文字をうまく並べかえると答え(魚の名前)になります。

例題

ア	コ	ン	ブ
キ	ア	サ	リ
ア	バ	ン	サ
ジ	コ	マ	イ

リスト

- ☐ アキアジ
- ☐ コマイ
- ☐ プリ
- ☐ サンマ
- ☐ コンプ
- ☐ アサリ

ア	コ	ン	ブ
キ	ア	サ	リ
ア	バ	ン	サ
ジ	コ	マ	イ

〈解答〉サバ

間違いさがし

間違いは5つです。

※右と左の絵には、5か所の異なるところがあります。
さあ、見つけてください。
(印刷のズレや汚れは関係ありません。)



※答えは13ページにあります。

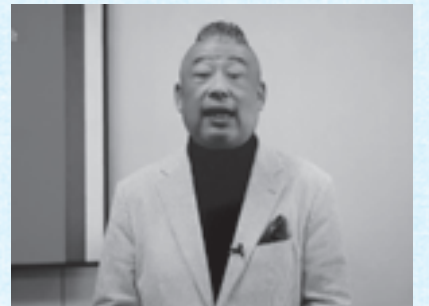
令和3年度 全道漁協トップセミナーが開催

全道漁協や系統団体の役職者らが研鑽を深めました

01

3月3日(木)、令和3年度全道漁協トップセミナーがオンラインで開催され、全道各地の漁協や系統団体、道水産林務部、農林中央金庫の役職者ら145名が参加しました。

今年は商品ジャーナリスト・サイバー大学IT総合学部教授の北村 森氏を講師に迎え、「持続可能な事業運営モデルの確立とブランド戦略」と題し講演が行われ、地域産品のブランディング化にあたり突発的な偶然の産物としないためには①自分たちの地域で獲れる魚介類を分析し価値を知ること、②その価値をどう伝えるか考えること、③それを持続させるにはどうするか考えること、という3つのステップが重要であると強調しました。



力強く講演する北村氏。今回のセミナーの様子は3月17日~23日までYouTubeで限定配信されました

適切な資源管理や海獣による漁業被害対策の実現へ

日本海沿岸漁業の振興対策に関する要請を実施しました

02

日本海沿岸の19漁協が構成員となる北海道日本海沿岸漁業振興会議(今運営委員長/北るもい漁協)とぎょれんは、3月9日(水)~10日(木)にかけて、道や国へ対し、本道日本海沿岸漁業の振興対策に関する要請を実施しました。

要請では適切な資源管理の実施、漁業有害生物による被害対策、北海道日本海沿岸地域の漂流漂着物の対策、といった水産資源の増大とともに漁業経営の安定や漁場環境の保全に向けた対策実現へ支援を求めました。

※本年度の要請は新型コロナウイルス感染症予防の観点から北海道日本海沿岸漁業振興会議事務局を務めるぎょれんで実施しました。



代表してぎょれん本間常務から中村農林水産副大臣へ要請書を手交しました

北海道代表の3組が各賞を受賞

第27回全国青年・女性漁業者交流大会が開催

03

3月2日(水)、第27回全国青年・女性漁業者交流大会がオンラインで開催され、各地を代表する青年・女性漁業者が日ごろの研究・実践活動の成果を発表しました。

本大会には1月13日(木)に開催された第67回全道青年・女性漁業者交流大会(なみまるくん400号で掲載)で選出された3組が本道を代表して参加し、いずれも各賞を受賞、下記の通り表彰されました。



東京の会場と全国の発表者をWEBで繋ぎ開催されました

《水産庁長官賞》 ○標津漁業協同組合 有限会社鈴木漁業部

「産学連携による漁業の発展を目指す~魚介類沈静化システムによる活け締め作業の効率化~」

《農林中央金庫理事長賞》 ○網走漁業協同組合 ほたて養殖部会

「大規模ホタテ稚貝生産の経営改善~試行錯誤を重ねた40年~」

《全国女性連・全国漁青連会長賞》 ○ひやま漁業協同組合女性部 上ノ国支部

「地域の女性部として歩む」

編集部からのお知らせ

皆様からのお便り、写真、イラストをお待ちしています！

次の①～③を明記の上、ご応募ください。抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

- ①なみまるおたより箱への投稿（お便り、写真、イラスト等）や、広報なみまるくん4月号への感想・ご意見など（※150字程度まで）
- ②11ページのシークワードの答え
- ③住所・氏名・年齢・電話番号

〈宛先〉4月19日までにお送りください。

（郵便）〒060-0003

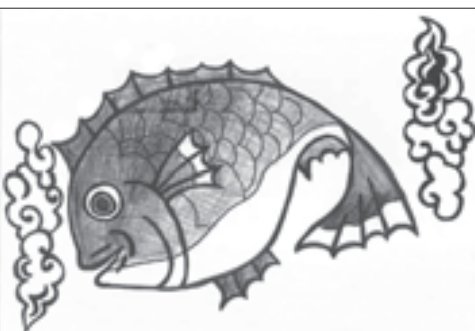
札幌市中央区北3条西7丁目1番地
北海道ぎよれん 総務企画部 広報担当

（FAX）011-242-3543

（電子メール）info@gyoren.or.jp

※「なみまるおたより箱」には①からご紹介します。ご応募いただいた方の個人情報は、図書カード進呈や、お便り、写真、イラスト等の掲載（氏名、年齢、市町村名）にのみ使用いたします。写真やイラストは、返却できませんのでご了承ください。

11ページの間違いさがしの答え



（根室市 昆布ちゃんさん 17歳）

※カラーで載せれないのが残念です。

なみまるくんのお便りの表紙の雰囲気が変わりましたね!! すごく活気があってこれぞ漁師の本? という感じです(市場のセリでしようか)

（島牧村 高島里子さん）
（根室市 鍋島勇子さん 72歳）
（北斗市 栗田人美さん 70歳）
（釧路市 曾我徹也さん 77歳）
（小樽市 宮古知行さん）
（函館市 ぶくぶくさん 40歳）
（興部町 井野裕史さん 70歳）

（根室市 昆布ちゃんさん 17歳）
（興部町 井野裕史さん 70歳）

（根室市 昆布ちゃんさん 17歳）
（興部町 井野裕史さん 70歳）

（根室市 昆布ちゃんさん 17歳）
（興部町 井野裕史さん 70歳）

庭の雪もなく、少しづつ春の気配が感じられる頃。コロナもなかなか収束が見られませんが、又ロシアとウクライナの戦争が起こり、道東に暮らすものとしてひとことではなく一日も早く収まる事願っています。

（根室市 鍋島勇子さん 72歳）
（北斗市 栗田人美さん 70歳）
（釧路市 曾我徹也さん 77歳）
（小樽市 宮古知行さん）
（函館市 ぶくぶくさん 40歳）
（興部町 井野裕史さん 70歳）

（根室市 鍋島勇子さん 72歳）
（北斗市 栗田人美さん 70歳）
（釧路市 曾我徹也さん 77歳）
（小樽市 宮古知行さん）
（函館市 ぶくぶくさん 40歳）
（興部町 井野裕史さん 70歳）

（根室市 鍋島勇子さん 72歳）
（北斗市 栗田人美さん 70歳）
（釧路市 曾我徹也さん 77歳）
（小樽市 宮古知行さん）
（函館市 ぶくぶくさん 40歳）
（興部町 井野裕史さん 70歳）

（根室市 鍋島勇子さん 72歳）
（北斗市 栗田人美さん 70歳）
（釧路市 曾我徹也さん 77歳）
（小樽市 宮古知行さん）
（函館市 ぶくぶくさん 40歳）
（興部町 井野裕史さん 70歳）

（根室市 鍋島勇子さん 72歳）
（北斗市 栗田人美さん 70歳）
（釧路市 曾我徹也さん 77歳）
（小樽市 宮古知行さん）
（函館市 ぶくぶくさん 40歳）
（興部町 井野裕史さん 70歳）

news

浜のほつとニュース

大漁祈願!

小樽

1月から解禁となったにしん漁は、4月上旬までが漁期となっています。昨年に比べ管内は皿が多く、数量に関しては昨年対比の150%見込みとなっています。また価格も順調に推移していたことから浜は活気づいています。3月上旬からはえび籠漁、4月1日からははたて稚貝の出荷が始まり、春漁が本格化してきます。新年度においても安全操業で、順調な水揚げができることを祈念しています。

室蘭

日ごとに暖かくなり、春らしい陽気の日が増え、3月から各種籠漁が始まりました。えびの水揚げは出だし数量も少なく浜値も伸び悩みましたが、柳たこは数量が少ないながらも浜値はkg@700台と好調な滑り出しとなっています。4月上旬からは春定置網漁の操業も始まり、本ますや時鮭などの春を代表する魚種の大漁に期待がかかります。新年度も生産者の皆様の安全操業と豊漁を心より祈念しています。

根室

根室管内でも春告魚『にしん』の水揚げが増えてきており、近年と比較するとまだ水揚げは少ないですが、春の訪れをひしひしと感じています。一方、黒がれいの水揚げも増えてきており、にしんと共に今後の盛漁期に期待をしています。春漁が天候と水揚げに恵まれますことを祈願しています。

留萌

えび籠漁が解禁し、かれいやにしん刺網の水揚げが本格的にスタートしました。これから各地区ではたて稚貝出荷も始まり、浜は大きく賑わいます。気温が徐々に上がり、雪解けも一気に進み、春の訪れを感じています。盛漁期に向けて皆様が安全操業で、大漁となることを心より祈念しています。

函館

気温の上昇と共に雪解けが進み、はたてが最盛期を迎えています。価格も上々で浜は活気に満ちています。一方、函館市場にはふのりやまつもが上場され、4月からは、乾海藻の入札会が開催されるなど、春を間近に感じています。大変忙しい時期ですが、体調管理と安全操業にご留意いただき、今春の大漁を切に願っています。

釧路

ようやく冬の寒さが和らぎ、春の息吹が感じられるようになり、冬の主役であるたこやにしん、毛がになどの水揚げが終盤に近付いています。時化の影響により思うように出漁できない期間もありますが、終盤の巻き返しに期待しています。新年度に入る4月からは様々な魚種の水揚げが始まります。大漁と安全操業を祈願しています。

稚内

厳しい寒さがやわらぎ始め、春の訪れをすぐそばに感じられる季節となりました。浜では3月中旬から始まったはたて漁、毛がに籠漁に続いたこ漁も大漁が期待されます。少しずつ忙しさが増していく季節になりますが、今後安全操業で豊漁となることを心より祈願しています。

梶山

ひやまの春漁といえばさくらます。雪解け水により、身が引き締まり、脂のりがほど良いさくらますは様々な料理に向いているため重宝されますが、今年は荒天続きで思う様に漁ができていません。今後、皿が続き海上安全と大漁となるよう祈念しています。

日高

3月よりつづ籠漁が始まっています。赤潮の影響によるものなのか、水揚げ数量が大幅に減少しており、今後の資源回復を祈るばかりです。一方、4月に入りますと春定置網漁や刺網漁等が始まります。浜では春定置網漁に向けて土のうを準備している光景も見られます。本年度も皆様が安全に操業されることと豊漁を祈願しています。

北見

オホーツクも徐々に春めいて、本格的な海明けを迎えようとしています。底曳網漁、はたての漁場造成、毛がに漁がスタートしており浜では賑わいを見せています。今後は刺網漁でにしん、かれい類等の水揚げが本格的になり、浜は益々賑わうことでしょう。忙しさを増してきますが、これからも安全操業と大漁を心より祈願します。

さあ出港 ライフジャケット着て 乗船だ

公益社団法人 北海道海難防止・水難救済センター



レシピアクセス数

第33位

ほたてと長芋のペッパー醤油炒め

今回は「ほたてと長芋のペッパー醤油炒め」をご紹介します。

第2回北海道のほたてスピードレシピコンテストで入賞した
東京都 茂木夏央里さんのレシピです。ほたての旨みと香ばしい醤油は
最高のパートナー! 長芋の食感と黒コショウが味のアクセントです。



2022年はぎよれんの
ホームページ「おすすめ
レシピ365」のアクセ
ス数上位50位からレシ
ピをご紹介します。
魚種や料理法の重複など
考慮して掲載を決めてい
ます。

*2020年1～12月調べ

材料

4人分

ほたて貝柱…………… 16個
長芋…………… 400グラム
オリーブオイル …… 大さじ1～2
にんにく…………… 1片
醤油…………… 大さじ3
粗挽き黒コショウ …… 小さじ2/3
パルメザンチーズ …… 大さじ1



作り方

- ① ほたて貝柱は横半分にスライスし、長芋は皮をむいて1センチ幅の輪切りにする。にんにくはつぶしておく。
- ② フライパンに、オリーブオイルとにんにくを入れて弱火にかけ、香りが出たら中火にし、①の長芋を入れて両面を焼く(油が足りない場合はここで足す)。
- ③ 両面に焼き色がついたら、ほたて貝柱を加えてさっと炒め、醤油、粗挽き黒コショウを加えて軽く炒める。
- ④ ③を器に盛りつけ、パルメザンチーズをふったら出来上がり。(イタリアンパセリを添える)